

2018年度（平成30年度）事業計画

I テニス部門

1. 普及プログラム事業（公益目的事業1）

【アダルト・ジュニア】

(1) 基本方針

「世代を超え、レベルを問わず、テニスの輪を広げる」環境をつくり、TTCのブランド力を高め、スクール事業の安定収入の基盤となるレギュラー人数を増やす

(2) 収入予算計画

年間売上 170,478 千円（アダルト 116,889 千円/ジュニア 53,589 千円）を目標とする
（詳細は別紙参照）

【昨年対比年 163,352 千円（アダルト 111,108 千円/ジュニア 52,243 千円）】

(3) 活動指針

レギュラー在籍者数は月平均 1,386 人（アダルト 773 人/ジュニア 613 人）を目標とする。
（詳細は別紙参照）【昨年対比 1,370 人（アダルト 760 人/ジュニア 610 人）】

フリーチケット&プライベートレッスンの年間収入は 10,632 千円を目標とする
（詳細は別紙参照）【昨年対比 10,534 千円】

(4) 活動計画

A) プログラム活動計画

- ① 退会率はアダルト 1.5%・ジュニア 2.0%を目標とする
- ② 体験からの入会率はアダルト 65%・ジュニア 90%を目標とする
- ③ フリーチケットはフリー④25枚、フリー⑧10枚を月の売上目標とする
- ④ プライベートレッスンは 35 人を月の目標とする
- ⑤ アダルトプログラムの質の向上
 - ◇ レベル設定の見直しを検討し実施する
 - ◇ 2ヶ月毎にレッスンテーマの告知
 - ◇ カラーボールを使ったクラスを開設する
- ⑥ ジュニアプログラムにおける TENNIS PLAY&STAY の質の向上
 - ◇ 上達チェックシートを用いて個々の上達度を把握する
 - ◇ 上達チェックシートに基づいたレッスンカリキュラムを行う
 - ◇ 保護者会を開催する（6月）
 - ◇ 保護者とコミュニケーションをとる
 - ◇ ピョピョ集客の工夫（広報記載地域を増やす）
- ⑦ コーチ一人一人の強みを生かしたイベントの企画・実行
- ⑧ 楽楽テニスの充実と拡大
 - ◇ 楽楽テニスの有料参加者は各回 24 名を目標とする

◇ 月曜日にグリーンボールを使用したクラスを新設する
(マンデーグリーン)

◇ 逆井出張教室の継続

B) キャンペーン活動計画

① 新規入会・紹介キャンペーン

◇ 春と秋の年2回実施する

◇ 新規入会者数は160名を目標とする

C) 年間スケジュール (イベント・トーナメント)

<アダルトプログラム>

*KAZUKO CUP 開催時期・内容を含め調整

*レディースチームテニス 6月4・5日(予備日6日・7日)

*TTC チャンピオンシップ 4/30

*ステップアップダブルス 4/16・6/19・9/20・11/16・1/28・3/19

*灼熱シングルス大会 7/8・3/24

*雑賀杯TTC予選 10/27

*テニス合宿 5/19~20

*車いすライオンズカップ 10/7・3/23

<ジュニアプログラム>

*チャレンジマッチ 5/5・10/8・11/23・12/23

*Hクラス強化試合 4/8・5/13・6/24・7/22・9/30・10/28・11/25・12/16
2/3・3/24

*サマースクール 夏休み期間中に実施予定(遊育くらぶと調整)

*ピヨピヨ親子ショートテニス教室 5/5・10/8・12/23

D) スタッフデベロップメント

◇ スタッフ研修および科学セミナーへの参加

◇ インプット&アウトプットの機会として、外部セミナーを受講しレポートを
発表する

◇ 平野コーチ・立石コーチの資格取得

E) 地域貢献活動

◇ 花野井小学校クラブ活動

◇ 豊四季幼稚園テニスレッスン

◇ 東京大学テニス教室

◇ 柏市障害者スポーツ体験交流事業

(5) 経費計画

年間10万円を超える支出

◇ 永年表彰記念品 300千円

◇ 防球ネット 1,000 千円

【プロジェクト】

(1) 基本方針

将来の事業運営の多角化を目指し、プログラムの更なる充実と新規プロジェクトの立ち上げを図り、利用者のニーズに答えながら時代の変革に対応して行く。

(2) 活動方針

①Play Sight の活用

レッスンでの活用は勿論のこと、大会・イベント等での活用を広げ機能を十分に生かして利用者を増やして行く

②プログラムの国内または海外への発信と業務提携の模索

TTC が持っている低年齢のプログラムを海外発信を模索して行く。プログラムと同時に人材の交流育成も併せて検討する。

③柏市との指定管理事業をサポートする

公営コートでのイベント(楽楽テニス(逆井)・ナイトテニスクリニック)を更に充実させて行く。

④柏市教育委員会との連携

障害者スポーツ体験交流事業の2年目として、今年度7校を目途に車いすテニス体験交流を実施して行く。

⑤1番・2番コートのインドア化

9月から12月に掛けて、1・2番コートをインドア化して行く予定。資金計画を含めた利用計画については十分に検討した上で進める。

(3) 活動計画

①Play Sight の活用

- 1.年間登録会員(Core Membership)の獲得 目標10名
- 2.外部へのプロモーション活動の実施
 - ・Facebook
 - ・各種イベントでの活用
 - ・検討事項として機械の正常作動のため、スポーツサーフェス(株)とのメンテナンス契約

②国内または海外における事業展開の模索

2018年も引き続き現地調査を継続する

- (1)個人や賛助企業または協賛企業等を通じて新規事業の展開のための情報を収集する(複数事業所の検討)
- (2)必要に応じて海外現地調査を行う(経費計画1,000千円)
- (3)必要に応じてボードもしくは理事会で報告を行い、その後の展開について様々な意見やアドバイスを得て行く

③指定管理事業のサポート(ナイトテニスクリニック・楽楽TX)

④障害者スポーツ体験交流事業

今年度、柏市内小中学校7校を目途に交流事業を展開して行く

予算： 700千円

(1)対応する選手・スタッフを平準化し外部への発信力を高めて行く

(2)一人でも多くの障害者スポーツの応援者を広げて行く

⑤インドア計画について

1)建築規模 1・2番コート一体型

2)建築時期 9月末着工～12月末竣工

(3ヶ月使用禁止となる為、OUTドアコートの利用は工夫が必要)

3)建築工法 テント幕式アーチ型構造(鉄骨フレーム・壁なしサイドカーテン式)
(幕式テント10年保証付)

4)予算総額 115,500千円

5)調達資金 銀行借入 予定

(15年の長期借入を検討、一方で大口寄付金年間20,000千円×5年を目途に計画)

6)施工業者 株式会社ダイエープロジェクト





7)建築設計 株式会社ユウプラン設計(代表取締役 浅岡大輔)

8)利用計画 計画中

吉田記念テニス研修記念センター実施スケジュール

2017年12月14日

株式会社ユウプラン設計

凡例 意匠 
構造 
申請 
工事 

担当		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月～12月末	
12条報告	ダイエーPJ 安西 意匠設計	■		■							
	ユウプラン 尾崎 構造設計	■	■	■	■						
	ダイエーPJ 工事			■	■	■	■	■			
インドアテニス新設	ユウプラン 構造設計					■	■	■	■		
	ダイエーPJ 申請 ダイエーPJ 工事								■	■	
	役所打合	●	●	●			●	●	●	● ●	
		構造設計方針決定(12条)	役所へ方針の確認(12条)	12条報告書提出(12条)	→ 役所12条報告確認 →		構造設計着手(インドア)	役所補強工事完了確認(12条)	構造設計完了(インドア)	着工(インドア)	竣工(インドア)

2.選手育成事業（公益目的事業2）

【レベルアップ】

(1) 基本方針

長期的視野に立った選手育成のスタート段階として、選手とその家族が指導方針の理解やTTCの理解、競技スポーツの理解を深められる環境づくりを行う。また、フューチャークラスに向けてパフォーマンスを上げていくこと、並びに私立中学の受験を見据えたジュニアにとっても、将来的に活躍できる土台を作ることを目的にトレーニングを行う。そのために「身体能力の開発・テニススキルの向上・アスリートマインドの育成」を主眼にプログラムを行っていく。

(2) 収入・予算計画

月会費 2・3年生	3,132 千円（9名@29千円）【昨年度予算 2,803 千円】
月会費 4・5年生	3,456 千円（9名@32千円）【昨年度予算 3,110 千円】
白子キャンプ	240 千円（16名@15千円）【昨年度予算 225 千円】
レベルアップキャンプ	128 千円（16名@8千円）【昨年度予算 95 千円】
合計	6,956 千円【昨年度予算 6,233 千円】

(3) 活動指針

①身体能力の開発

- ・フィットネス部門と協力し、プログラムを行っていく
- ・W-upを各自がどこでも行えるよう指導をすすめる
- ・コーディネーションチャレンジシートの活性を促す

②テニススキルの向上

- ・構えの徹底をレッスン開始時に行い、正しい構えを習得する
- ・戦術と合わせた最適なテクニックの習得を行う
- ・月間の練習テーマに沿った計画的な練習を行う
- ・年2回の個人面談時にテニステストを用い、スキルの評価を行い各自の課題を明らかにする
- ・練習前の空きコートを利用しサーブの自主練習を行い、サーブの強化を図る
- ・Futuresクラスを見据えたジュニアを中心に早朝のプライベートレッスンを実施

③アスリートマインドの育成

- ・テニステストを使い、自らの課題を把握し目的意識を持った練習を行う
- ・ターゲットとなる大会に試合結果のゴールを作り、そのゴールに向かった自立的な練習を行う
- ・雨天時にレクチャーを行い、必要な知識の獲得を行う。また、言語技術を理解し、論理的思考やスピーチの能力を上げる
- ・オフコートの振る舞いや食事などキャンプやセミナーを通して理解を深める

(4) 活動計画

①在籍人数目標：年平均 18 人【昨年度予算 16 人】

入会目標 8 人 【昨年度予算 10 人】

*フューチャーズ入会テスト受験見込：(4 月 1 人、9 月 3 人)

【昨年度予算 4 月 3 人、9 月 3 人】

②イベント

◇6 月：レベルアップキャンプ (TTC または外部にて 1 泊) 16 人【昨年度予算 15 人】

◇7 月：北軽井沢キャンプ *レベルアップからの参加者 16 人【昨年度予算 15 人】

◇9 月：筑波山登山トレーニング (フューチャーズクラスと合同)

◇11 月：白子キャンプ 16 人【昨年度予算 15 人】

◇他クラブとの対抗戦 年間 1 回実施

③保護者とのコミュニケーションと情報共有

◇4 月：指導方針、年間スケジュール

◇4 月：各家庭と個人面談 (テニステスト使用)

◇6 月：レベルアップキャンプ説明会と夏の試合について

◇9 月：指導方針・夏のフィードバック

◇9 月：各家庭との個別面談 (テニステスト使用)

◇ジュニア全体ミーティング (Futures) への参加

◇全国選抜ジュニア選手権大会のミーティングへの参加

◇科学セミナー講師によるセミナーへの参加

④ヴォランティア活動への参加 (ボールキッズとして大会をサポートする)

◇全国選抜ジュニア

◇かしわ国際オープンテニストーナメント

◇全日本選抜車いすテニスマスターズ

◇おはようキッズ

⑤コーチの試合帯同

ゴールに設定した試合をコーチが帯同することで、育成の進捗状況・他クラブの選手状況を把握し、今後の指導に役立てるものにする。また、保護者との信頼を得るためにもコミュニケーションを行う場とし、以下の大会を視察する。

のびす北ブロック【松原 TC】(7 月)・選抜千葉 (1 月)・のびす北ブロック【TTC】(3 月)・県ジュニア (3 月)・千葉県小学生 (3・4 月)

関東プリンスツアー【TTC 会場】(8 月) ピーナッツカップ (12 月) は業務と並行して帯同する

⑥記録

各選手を動画で記録を行うことで、各自の成長過程の確認と目標設定の資料として活

用する。また、Play&Stay による育成がどのように影響を与えているかを記録することでセミナー等での資料としても活用する。

⑦オムニコート練習

スライドのフットワークなどオムニコート特有の戦術やテクニックを早期に経験するために、定期的に外部コートを利用し練習を行う。

⑧レベルアップ説明会の実施

普及クラス在籍者および家族、外部にむけてレベルアップコースの案内をチャレンジマッチ開催時に行い、レベルアップの方針の理解を深め、レベルアップコース参加者希望者を把握する機会とする。(年 1~2 回実施)

⑨コーチ 3 人体制への基盤作り

レベルアップの在籍数を増やし、育成プログラムの在籍者を将来的に確保するために多くのジュニアを受け入れられる体制の基盤を作る

⑩ホームページの充実

外部への PR、保護者への情報の案内など効率的な共有を図かる。

(5) 経費計画

特になし

【フューチャーズ】

(1) 基本方針

- ◇ 「良き日本人」「立派な国際人」を輩出し、社会に貢献する
- ◇ 国内トップ選手を輩出し、国際的に通じる選手を育成する
- ◇ 選手の可能性を信じ、共に夢を追えるプログラムとする

(2) 収入予算計画

フューチャーズ	24,382 千円 (38 名)	【昨年度予算 25,621 千円 (40 名)】
プライベートレッスン	1,830 千円	* 月平均 160 千円(8 月 70 千円) 【昨年度予算 1,830 千円】
海外トーナメント	1,600 千円	* 200 千円×4 人×2 回【昨年度予算 2,000 千円】
海外キャンプ	1,200 千円	* 200 千円×6 名 【昨年度は実施予定なし】
エキストラ	220 千円	* 10 千円×2 人×11 月 【昨年度予算 320 千円】
白子キャンプ	300 千円	* 150 千円×2 回 【昨年度予算 300 千円】
北軽井沢キャンプ	2,160 千円 (40 名)	【昨年度予算 2,160 千円】
交流会	64 千円	* 8 千円×4 人×2 回 【昨年度予算 64 千円】
合計	31,756 千円	【昨年度予算 32,295 千円】

(3) 活動指針

- ① 在籍者数 38 人を目標とする 2018 年度は 3 人が卒業、3 人が入会见込み
- ② 「Game Based Approach」の考えに基づいた指導
- ③ 「Reach Your Max」の考えのもと、選手、保護者、指導者が一丸となり目標に向か

って最大限努力する

- ④「3つの約束」の更なる徹底を行い、選手の自主性並びに自律・自立を目指した人としての成長を促す
- ⑤「Long-term development」の考えのもと、長期的な視点に立ちしっかりと育成する
- ⑥ U14 までに関東出場を目指し、それに必要な基本・基礎能力を向上させる
低年齢を対象にテニステストを実施（4月・9月）
個々のスキルの把握とそのフィードバックを通じて課題を明確化する
- ⑦「Quick response」をキーワードに、選手の積極的かつ主体的な発言や行動を促す
- ⑧フィットネスとの連携
フィットネステスト評価値の全体平均が 3.0 点以上にする
週に 1 回のコンディショニングセッションを通じて怪我を予防する
- ⑨Play Sight の活用
最新技術を活用し、技術向上にアプローチをする

(4) 活動計画

(4-1) 成績目標

6年連続全国チャンピオンの輩出を目指すべく準備を進めていく

◇全日本ジュニア出場選手目標

U16・18 7人【昨年度目標 8人】

U12・14 3人【昨年度目標 2人】 計 10人【昨年度目標 10人】

◇関東ジュニア出場選手目標

U16・18 12人【昨年度目標 14人】

U12・14 6人【昨年度目標 6人】 計 18人【昨年度目標 20人】

◇ITF ジュニアランキング保持者目標

男子 2人【昨年度目標 2人】

女子 4人【昨年度目標 5人】

(4-2) 教育スケジュール

①選手の教育と保護者との連携

◇全体ミーティング（年 3 回実施＝4月・9月・1月）

◇全国選抜ジュニアのシンポジウム（5月）＊U12・14の選手対象

◇スポーツ科学セミナー講師によるセミナー（11月）

◇雨の日を活用したレクチャー（随時）

実施内容（ビデオレクチャー・目のトレーニング・ゴールセッティング・エリアの認識学習・スピーチの練習）

◇MFA の実施（保護者に MFA への理解を促し、資格取得率を向上させる）

保護者の資格取得率 90%以上

＊MFA＝Medic first Aid メディック・ファースト・エイドの略称 救命救急法

(4-3) キャンプ・強化練習会

- ◇白子キャンプ（年間 2 回）
- ◇北信越交流会（年間 2 回＝5 月、12 月）
- ◇ハワイ選手との交流会（6 月）
- ◇U12・14 歳の海外キャンプ（8 月）
- ◇北軽井沢キャンプ（7 月 25 日～）
- ◇TTC 主催による ITF ジュニア海外遠征（年間 2 回＝6 月、11 月）
- ◇筑波山トレーニングキャンプ（9 月）

(4-4) トーナメント帯同予定

- ◇全国大会とその全国大会につながる関東/県予選
全日本ジュニア、インターハイ、全国中学生、全国小学生、MUFG ジュニア、
中牟田杯全国選抜、RSK 全国選抜、全国選抜ジュニア
- ◇G4 などの下部大会（レベルの底上げを狙う）
- ◇海外 ITF Jr（6 月と 11 月を予定）
- ◇国内 ITF Jr（Super Jr、Japan Open Jr、兵庫国際、埼玉国際、山梨国際）

(4-5) スタッフ育成計画

- ◇共通理解と認識の向上
毎週水曜の育成コーチミーティングにて練習の質の向上のために積極的な意見交換を行なう
- ◇コミュニケーション能力の向上
コーチ間の「報連相」の徹底する（「Daily Note」での情報共有）
選手、保護者とのコミュニケーションを図り理解を深め、共通の目標、共通のキーワードを持って選手をサポートしていく
- ◇英語力の向上
育成のミーティングにおいて英語を積極的に使う
TOEIC を活用する
- ◇外部とのコネクションづくりと情報収集
試合の帯同や外部の講習会参加時に積極的に外部とのコネクションを広げ、協力体制を築くとともに情報収集を図る
- ◇コーチライセンスのアップグレード
S 級エリートコーチライセンス講習会が開催の場合、積極的にコーチを派遣する
- ◇日本テニス協会主催レベルの講習会に参加する
- ◇海外短期留学
語学力向上とグローバルなスキルアップを目的に、蚊口コーチを 4～6 月に海外短期留学（オーストラリア）させる

(4-6) テニス協会との協力

千葉県ジュニア委員会強化部会に参加していく（基本的に森と稲葉）
大会やイベントなどの役員としても参加し、千葉県テニス協会に対して協力していく
ジュニア委員会を通じて、情報交換や協力体制を築いていく

(5) 経費計画

年間 10 万円を超える支出

◇千葉県ジュニア	200 千円	(レンタルコート 170 千円、帯同費 30 千円)
◇MUFG ジュニア	120 千円	(レンタルコート 10 千円、帯同費 110 千円)
◇関東ジュニア	320 千円	(レンタルコート 120 千円、帯同費 200 千円)
◇インターハイ	120 千円	(レンタルコート 10 千円、帯同費 110 千円)
◇全日本ジュニア	630 千円	(レンタルコート 130 千円、帯同費 500 千円)
◇全国中学生大会	210 千円	(レンタルコート 10 千円、帯同費 200 千円)
◇中牟田杯全国選抜	145 千円	(レンタルコート 15 千円、帯同費 130 千円)
◇RSK 全国選抜	100 千円	(レンタルコート 10 千円、帯同費 90 千円)
◇オムニ練習レンタルコート (コート補修時対応)	100 千円	
合計	1,945 千円	

【ハイパフォーマンス】

(1) 基本方針

- ◇国内トップ選手を世界で通用する選手に育成する
- ◇2020 年東京オリンピックを視野に入れて活動する
- ◇「Game Based Approach」の考えに基づいた指導

(2) 収入・予算計画

プレイヤーズ	648 千円×2 名	1,296 千円	(昨年度予算 2,592 千円)
	250 千円×1 名	250 千円	
トランジット	648 千円×2 名	1,296 千円	(昨年度予算 1,296 千円)
トレーニングベース	500 千円×0 名	0 千円	(昨年度予算 1,000 千円)
合計		2,842 千円	(昨年度予算 4,888 千円)

(3) 活動指針

- ① グランドスラム出場・全日本選手権優勝を目標とする
- ② 在籍人数目標 (年度末予定) : 5 名

◇プログラム詳細

プレイヤーズ	在籍 3 名	(昨年度 4 名)
トランジット	在籍 2 名	(昨年度 2 名)
トレーニングベース	在籍 0 名	(昨年度 2 名)

③ 選手別成績目標

- ◇プレイヤーズ

松井俊英選手 グランドスラム出場、ATP100 位以内 (ダブルス)

美濃越舞選手 WTA ランキング 200 位以内

村松千裕選手 WTA ランキング 250 位以内

◇トランジット

荒川晴菜選手 WTA ランキング 400 位以内

新規選手の獲得

◇トレーニングベース

在籍なし

(4) 活動計画

①プログラム強化

- ・各選手の基礎力を向上させ、世界で通用する技術・戦術・体力を構築する
- ・タクティカル・テクニカル・バイオメカニカル・フィジカル・メンタルの考え方を
もとに、選手に対してのアドバイスや評価を行う
- ・フィットネスとの連携をはかり、バランスの取れた身体をつくる
(年 2 回のフィットネステストを実施)
ウィークポイントを認識・強化し、年間通して戦える身体をつくる
- ・年間プランニングとツアーコーチとの連携及びツアー帯同や合同練習の機会を
増やす
- ・コアトーナメントを設定し、TTC 主導での遠征を増やしていく

◇プレイヤーズ・トランジットプログラム

- ・グランドスラム出場に必要な武器を作る
(厚く・強い当たりとスイングスピードの向上)
- ・女子選手はフィジカル・メンタルを更に強化する
(筋力トレーニングの比重を大きく)
- ・プレースタイルに合わせた身体作り (怪我をしない身体・休息の管理)
- ・3ヶ月ごとの P (計画) D (実行) C (評価) A (改善) を行う
- ・各選手に合わせたツアーコーチの責務の明確化を行う

◇トレーニングベースプログラム

在籍なし

②コーチ帯同予定

5月 5/2～5/15 岐阜・福岡

9月 9/12～9/25 東京

10月 10/17～10/30 浜松・全日本

12月 11/10～12/20 アジアツアー

③東京五輪に向けた練習環境を定着させる (車いす選手含む HP 全体)

(5) スタッフ育成計画

①共通理解と認識の向上

更なるプログラムの質の向上をすべく、伝え方・着眼点・指導法においてコーチ間で情報を常に共有する

②コーチライセンスの取得

取得予定なし

(6) 100 千円を超える支出計画

11 月 全日本テニス選手権帯同（大阪開催） 300 千円

【ハイパフォーマンス車いすプログラム】

(1) 基本方針

◇世界トップ選手の育成・活動

◇東京パラリンピックを見据えての選手強化

◇個々の目標・スケジュールに則したサポートの提供

(2) 収入計画

A カテゴリー	415 千円×4 名	1,660 千円	
	5,000 千円×1 名	5,000 千円	
B カテゴリー	362 千円×3 名	1,086 千円	
トランジット	583 千円×1 名	583 千円	
ジュニア	583 千円×1 名	583 千円	
合計		8,912 千円	（昨年度予算 3,330 千円）

(3) 活動指針

2020 年東京パラリンピックへ向けての 2 年目となる。A カテゴリーと若手育成選手においては全選手が東京パラリンピックを最大目標に設定し、グランドスラム出場を軸に大会スケジュールや目標を決定していく。B カテゴリーは引き続き全日本選抜マスターズへの出場・上位進出を軸に活動していく。

◇A カテゴリー

選手：国枝慎吾（ITF S8 位/D 14 位）

真田卓（ITF S9 位/D 9 位）

齋田悟司（ITF S27 位/D23 位）

藤本佳伸（ITF S23 位/D30 位） 2017.12 現在

尚、国枝選手については今年度より岩見 HC を強化コーチとして選手に携わる

資格：世界ランキング男子 30 位以内、女子 20 位、クォード 10 位

またそれに相当すると認められた選手

内容：週 6 回のテニスレッスンと週 5 回のフィットネスレッスン

◇B カテゴリー

選手：本間正広（JWTA S11 位/D9 位）

深山知美 (JWTA S9位/D9位)

古賀貴裕 (JWTA S7位/D4位)

2017.12 現在

資格：日本ランキング男女8位以内、クォード4位以内、またはそれに相当すると認められた選手

内容：週3回のテニスレッスン

◇トランジット (特別プログラム)

選手：高室冴綺 (ITF S20位/D26位)

内容：週5回のテニスレッスンと週3回のフィットネストレーニング

◇ジュニア (特別プログラム)

選手：船水梓緒里 (ITF S31位/D30位)

内容：週5回のテニスレッスンと週1回のフィットネストレーニング

※練習のスケジュールやボリュームに変更の可能性有り

(4) 活動計画

◇プログラム強化

Ann Quinn Project (予定)

Ann Quinn 氏をチームに招請し、東京パラリンピックへ向けて共に活動していく

ーSydney International の大会サポート

日程：2019年1月7日～12日

場所：Olympic Park, Sydney

内容：Ann 氏による各選手のマッチオブザーブと新たな課題の発見

TTC コーチ2名体制によるサポート

ー強化キャンプの実施

日程：2019年2月4日～8日

場所：TTC

内容：各選手の課題に沿った練習とカウンセリング

ゴールセッティング

ー個々にパフォーマンス・大会結果・ランキングの目標を3ヶ月単位で設定

ー3ヶ月ごとのフィードバック

練習環境の整備

ー山倉 C 不在中のサポートコーチの増員

ー新しい選手の受け入れ体制強化

◇ツアーへの同行 (予定)

①ジャパンオープン (福岡) 5月14日～5月19日

②シドニーインターナショナル (オーストラリア) 1月上旬

◇三井不動産全日本選抜車いすテニスマスターズ

日 程：2018年12月7日～9日 (予定)

対象者：男子・女子・クアードの ITF 及び JWTA ランキング上位者

目的：①国内チャンピオンを決定する。

②本イベントから世界水準の選手を輩出する。

③競技スポーツとして、コミュニティー、メディアへの車いすテニスの認知度を高める。

④障害者を正しく理解する。障害者と健常者の交流を図る。

(5) 経費計画

①ジャパンオープン大会帯同 200 千円 (スタッフ 2 名分)

②Ann Quinn Project 2,500 千円

【トーナメント】

(1) 基本方針

内容、運営面、収益面でも、ディレクターと、総務、イベントセクション各々の役割の中で、イベントの内容強化を進めていくよう協力していく。TTCの各イベントの集計、整理が、イベントの内容強化につながるよう進めていく。

(2) 収入予算計画

ジュニアトーナメント

ヨネックスアーリーサマー	1,500 千円
ブロッホカップ高校生	200 千円
ブロッホカップ小・中 2月	220 千円
ブロッホカップ小・中 5月	220 千円
ブロッホカップ小・中 8月	220 千円
ブロッホカップ小・中 9月	220 千円
全国選抜ジュニア	1,000 千円
関東ジュニアテニスツアー	4,000 千円
TTC 12・14才 オータム	1,400 千円
TTC 16才	700 千円
ヨネックスオータム	1,500 千円
ピーナッツカップ	10,000 千円
TTC 18才	700 千円
ヨネックスウインター	1,500 千円
TTC 12・14才 スプリング	1,200 千円
<u>ジュニアトーナメント総額</u>	<u>24,580 千円</u>

(3) 活動計画

実施報告書・収支報告書の実施後1か月以内の提出をお願いすると同時に、ファイルに整理し、いつでも閲覧できるようにし、今後の、或いは新規のイベントに役立ててもらえるようにする。

Aグレードは3か月前、Bグレードは2か月前、その他のイベントは1か月前より告知していけるよう、各ディレクターと協力していく。

集客の点では、総務、PR、広報、他のイベントやセクションとの連携を密にし、協力していく。

ホームページの活用を進めていけるよう協力する。

ジュニアトーナメントにおいては、「ヨネックスカップ」の参加者数を増やす。

12才、14才、男子、女子の予選の参加人数を32人から56人に増やし、ロイヤルSCのコートを借りて行う。

質を保って運営するためにも、千葉県女子審判部の方々などに協力を依頼して行っていく。

グレード大会はHPから発信でいいが、ブロッホカップは学校単位のDMでも告知してゆく。

【ジュニアトーナメント日程】

ヨネックスカップアーリーサマー	4/8(日)、14(土)、15(日)、21(土)、22(日)、 28(土) 予4/29(日)
ブロッホカップ小中5月大会	5/4(金)、
全国選抜ジュニア	5/17(木)~20(日) 予21(月)
ブロッホカップ小中7月大会	7/15(日)、7/21(土) 予22(日)
関東ジュニアテニスツアー	7/24(火)~8/19(日) 予20(月)
TTCジュニア12歳以下オータム	9/1(土)、2(日)、8(土) 予9(日)
TTCジュニア14歳以下オータム	9/15(土)、16(日)、17(月) 予22,24(土月)
ブロッホカップ小中9月大会	9/29(土)、30(日)、10/6(土)
TTCジュニア16歳以下	10/13(土)、14(日)、20(土) 予21(日)
ヨネックスカップオータム	10/28(日) 11/4(土)、5(日)、11(土)、12(日)、 17(土) 予18(日)
ピーナッツカップ	12/25(火)~31(月) 予2019、1/1(火)
ブロッホカップ高校生大会	1/4(金)、 予なし
TTCジュニア18歳以下	1/5(土)、6(日)、12(土) 予13(日)
ヨネックスカップウインター	1/13(日)、1/19(土)、20(日)、26(土)、 27(日)、2/2(土) 予3(日)
ブロッホカップ小中2月大会	2/16(土)、17(日)
TTCジュニア12歳以下スプリング	2/23(土)、24(日)、3/2(土) 予3(日)

TTCジュニア 14歳以下スプリング 3/9(土)、10(日)、 予 16(日)

【アダルトトーナメント日程】

かしわ国際オープンテニストーナメント	3/31 (土) ~4/8 (日)
TTC チャンピオンシップス	4/30 (月)
レディースチームテニス	6/4 (月) ・ 5 (火)
プリンスカップ	6/16(日) 予備日 17(日)
サマーチームダブルス	7/15 (日) ・ 16 (月)
JOP TTC 千葉大会	年 20 回開催予定
KAZUKO CUP	12 月予定
バレンタインミックスダブルス	2 月予定

(4) 年間 100 千円を超える支出計画

参加賞	ピーナッツカップ	400 千円
入賞カップ	ピーナッツカップ	400 千円
	ブロッホカップ 5 大会	120 千円
	TTCジュニア 6 大会	140 千円
ドロー	ピーナッツカップ	1,300 千円
	ヨネックスカップ 3 大会	330 千円
データ処理料	ピーナッツカップ	350 千円
	関東ツアー	100 千円
	TTCジュニア 6 大会	300 千円

3. 指導者育成事業 (公益目的事業 3)

【研修】

(1) 基本方針

- ◇国際テニス界における新しい知識や、実務経験を通して指導者・コーチ力の底上げを図る
- ◇TTC プログラムが持つ実務経験と知識を用いて、他クラブコーチやテニス関係者に情報発信や教育を行う
- ◇技術的トレーニング、身体的トレーニングやその他のテニスに関連した分野の研究を行う
- ◇国際的な教育プログラムを通して、TTC ジュニア選手や家族、競技志向選手、顧客、TTC スタッフの教育を行う

(2) 収入・予算計画：年間売上目標 1,883 千円

目標： MFA	72.8 千円×6=436.8 千円
科学セミナー	1,326 千円 (前年比 109%)
スポーツセミナー	60 千円×2=120 千円

(3) 活動計画・活動指針

A. スポーツ科学セミナー・スポーツセミナー

① スポーツ科学セミナー：

テーマ： 未定

講師： 未定

日程： 11 月第 1、2 週

共催： 公益財団法人日本テニス協会

スポンサー： アメアスポーツジャパン株式会社

対象： 国内テニスコーチ：集客目標 延べ 350 名 (TTC 会場延べ 170 名)
(前年 316 名)

責任者： 吉部マネージャー、補佐：宇治野トレーナー、岩見ヘッドコーチ、稲葉コ
ーチ

② スポーツセミナー

対象： 関東地域テニスコーチ：集客目標 15-20 名

責任者： 吉部マネージャー

◇スポーツセミナー(1)

テーマ： 「TTC のジュニア育成」(仮)

講師： 森寛志

日程： 2018 年 6 月

◇スポーツセミナー(2)

テーマ： 未定

講師： 未定

日程： 2019 年 2 月

B. クリニック/キャンプ/シンポジウム

①かしわ国際オープン・特別講演

テーマ： 未定

パネラー： 水野正人氏

司会： 岩見ヘッドコーチ TTC

対象： 協賛各社、TTC スタッフ

日程： 4 月 8 日

責任者： 石川久美子 (トーナメントアシスタントディレクター)

②全国選抜ジュニアテニス選手権大会・シンポジウム

テーマ： 未定
パネラー： 未定
司会： 岩見ヘッドコーチ TTC
対象： 参加選手・コーチ・保護者：集客目標 160 名
日程： 5 月 18 日(金)
責任者： 岩見ヘッドコーチ(トーナメントディレクター)

C. リサーチ

① 全国選抜ジュニア アンケート・参加者データ・マッチチャーティング

準備期間： 2018 年 5 月 1 日～
実行期間： 2018 年 5 月 17～20 日
レポート： 2018 年 6 月 30 日
スタッフ： TTC コーチ
責任者： 岩見ヘッドコーチ・川崎コーチ

② ピーナッツカップ アンケート (練習状況、使用用具メーカー等)

実行期間： 2018 年 12 月 25～31 日
レポート： 2019 年 1 月 31 日
スタッフ： TTC スタッフ
責任者： 長塚勝美部長

D. インターンシップ及び講師派遣

- ・総務部広報が窓口となり、現場のスケジュールと内容を確認しながら積極的に受け入れる
- ・TTC での経験を形式知化させてプレゼンテーションの形にまとめ、講習会形式の商品にしていく。
- ・専門単元の担当者養成を行う。
- ・商品の体系化を行う。

E. スタッフ研修

① 新人研修及び研修会

必要に応じて行う

② スタッフ研修

水曜日の朝 7 時 45 分から 9 時の時間を利用し、TTC の事業の理解や各分野における知識の蓄積のため以下のテーマ、担当において研修を行う。

What's TTC

TTC フィロソフィー、ミッションの共有	ボードメンバー
事業アセスメント	ボードメンバー
他事業視察	各スタッフ
施設メンテナンス・クリーンデー	穂積コーチ

Skill & Knowledge

TTC のテニスの基本	岩見ヘッドコーチ
サービスの基本	板谷企画責任者、石川マネージャー
緊急時対応・応急処置	宇治野トレーナー
レッスンの質	古澤マネージャー、穂積コーチ
フィジカルの基本	吉部マネージャー
科学セミナー講師による講義	科学セミナー講師, 吉部マネージャー

F. その他研修

① アンチドーピングセミナーの開催

日程:未定(ジュニア選手は全日本ジュニア前)

講師:宇治野トレーナーまたは染谷氏(ナショナルトレーニングセンター)に依頼

対象:ハイパフォーマンスプログラム所属選手、ITF ジュニア出場選手、全国大会出場
ジュニ選手、担当コーチ

責任者: 宇治野トレーナー

② 各セクションで必要とされる専門的なセミナーの開催

スクール事業: アダルト・ジュニアプログラム

フィットネス事業: コアトレーニングレクチャー等

③ MFA (Medic First Aid)

対象: TTC 全スタッフ、フューチャーズ・レベルアップコースの新加入選手の保護者、
ヴォランティア、トーナメント関係者、一般希望者

※フューチャーズ、レベルアップの保護者に関しては継続率を最低 90%とする
(2017 年度 86%)

責任者: フィットネススタッフ MFA 指導者資格保持者

開催日: 4/21、6/24、8/4、10/14、12/15、2/10

④ ジュニア選手の両親へのインフォメーション、ライセンス関係

各セクションで全体ミーティングや掲示板等で情報を発信していく

プレーヤーズプログラム: 岩見ヘッドコーチ

フューチャーズプログラム&レベルアップコース: 森コーチ、穂積コーチ

フィットネス・研修プログラム: 吉部マネージャー

スクール事業 Tennis Play+Stay プログラム: 古澤マネージャー

ヴォランティア: サービス事業部長塚部長

コーチライセンス(ライセンス更新含む)・外部研修参加等: ボードメンバー

4. フィットネス・ケア事業 (公益目的事業 4)

(1) 基本方針

◇アスリートを育てる

低年齢ジュニア：「基礎体力の向上」「自己の体を知る」

競技ステージの選手：「走り勝つ」、「効率的な動きの獲得」、「自己の体のメンテナンス」

◇自律、自立の出来る選手を育成する

◇より広く体力づくりの重要性と楽しさを伝える

(2) 収入予算計画

◇フィットネス部門の売上目標 8,379 千円 (2017 年度 3,863 千円)

【コーディネーション教室】

2018 年目標： 648 千円 54 千円／月 (2017 年目標：720 千円 60 千円／月)

【トレーニング】

2018 年目標： 1,848 千円 154 千円／月 (2017 年目標：2,057 千円 17 千円／月)

【ケア】

2018 年目標： 752 千円 63 千円／月 (2017 年目標：752 千円 63 千円／月)

【遊育くらぶ】(新規事業)

2018 年目標： 4,832 千円 403 千円／月

【その他イベント】

2018 年目標： 300 千円 (2017 年目標： 334 千円)

(3) 活動指針

◇テニスのパフォーマンス向上のためにフィットネストレーニングのより良い計画と調整を行う。

◇テニスコーチと協力し、トレーニングプログラムを対象別により深く計画、実行する。

◇フィットネススタッフは選手にテニスの臨場感をもってフィットネスに取り組むためテニスを深く理解する努力をする。

◇各選手の体の特性やケガの傾向をもとにセルフコンディショニングを徹底し、ケガをしない体作りを目指す。

◇すべてのテニスプレーヤーに対し健康的なテニスライフのサポートを行う。

(4) 活動計画

①フィットネストレーニング

◇ハイパフォーマンスプログラム、車いすプレーヤーズプログラム

・前年度より具体的なトレーニング計画を作成、実施、チェックを行い見える化も図る。

・長期遠征の際には自主トレーニングの処方を行なう。

・トレーニング成果の一つの指標としてフィットネステストを年 1～2 度実施する。

◇フューチャーズプログラム

・フィジカル面、メンタル面において「強い選手」を育成することを目指す。

・年代ごとにフィットネス課題を設定し、月間・週間の計画に落とし込んで遂行する。

・年に 2 度(4 月と 9 月)TTC フィットネステストを行い、個々にフィードバックを行う。

・TTC フィットネステストではこれまでの TTC のフューチャーズの平均水準値 3.0 以上

に保つ（2017年度秋平均値3.0）。

- ・TTCフィットネステストの結果を本人、保護者の了承を得て掲示を行う。
- ・TTCフィットネステストの結果を個々の成長曲線と照らし合わせ、適性を観察する。

◇レベルアップコース

- ・年に2度(4月と9月)TTCフィットネステストを行い、個々にフィードバックを行う。
- ・TTCフィットネステストの数値において、女子の評価値を引き上げ3.0に近づける。
- ・TTCフィットネステストやテニスでの課題を基にトレーニング計画を作成、実行する。
- ・基礎の運動能力の向上を目的としたチャレンジシートを月ごとに設定、配布する。
- ・遊育くらぶとの共同活動を模索し、トライアルを行なう。

◇一般プログラム

- ・一般の顧客からの要望に応じ、身体的チェック、コンサルティング、そしてフィットネストレーニングの指導を行う。
- ・低年齢ジュニア(Yクラス)に対して、基礎運動能力の向上を目的としてコーディネーション教室を週6回行う。
- ・前述の目的のため低年齢ジュニアの保護者に対し、フィードバックや情報発信を口頭または掲示にて行う。
- ・一般顧客の健康増進を目的としたグループトレーニングを開催し運動の習慣を啓蒙する。
- ・6月に普及ジュニアを対象にTTCフィットネステストを行う。フィードバックシートを配布し、運動能力に関する情報と共に成績優秀者を掲示する。

②ケア

◇ハイパフォーマンスプログラム、車いすプレーヤーズプログラム

- ・ケア・コンディショニングを通しての知識の共有を行うことで、自立した選手を作る。
- ・年間スケジュールや選手の目標を把握し、各々のコンディショニングの整え方を提案する。
- ・帯同の依頼に関しては、ヘッドコーチと相談の上、必要に応じて対応する。
- ・年に一回のアンチドーピングセミナーへの参加を義務付ける。

◇フューチャーズプログラム

- ・保護者やコーチ陣との相互的なコミュニケーションを図り強化に向けたサポート体制
- ・自発的なウォームアップ、クールダウン、コンディショニングを含め、自立した選手を育成する指導を行う。
- ・日々のコンディショニング指導により、自身の身体と向き合い、知ることを促す。
- ・年2回の形態計測により、身体への影響の予測を予測、ケガの予防へと繋げる。
- ・リハビリが必要な選手に対しては、早期復帰を目指してプログラムを処方する。

◇レベルアップコース

- ・年2回の形体測定を行い、身体への影響の予測を予測、ケガの予防へと繋げる。
- ・リハビリが必要な際には保護者とコーチと相談の上、リハビリチケットにて対応する。

◇一般プログラム

- ・ケアのサービスのみにとどまらず、イベントや SNS を通じてそれぞれの身体への興味を促し、健康にテニスを続けられる身体づくりへのきっかけを提供する。
- ・一般の車いす会員の障害や身体の状態に関するカルテを作成し、万が一の事態に備える（体調不良による救急搬送など）。
- ・ヨガとテニスのコラボレーションイベントの開催により TTC でのヨガの普及を試みる。
- ・将来的な TTC でのヨガやストレッチプログラムのレギュラー化と、テニス以外での TTC 用者の獲得を目的とした、TTC 近辺の近隣センターや公民館での出張ヨガ/ストレッチクラスを開催する。近隣に住むスポーツとは無縁の生活を送っている方にとっても、スポーツを通じての健康な身体作りへの入り口の間として TTC を利用してもらえるようなヨガやストレッチプログラムの提供を目指す。

◇医療機関との連携

- ・以下の医療機関の先生方と、選手のケガの処置および復帰へ向けた連携を図る。
 - 上肢のケガ：キッコーマン病院 田中先生
 - 下肢のケガ：柏市立柏病院 池川先生、筑波大学附属病院 金森先生
 - 皮膚疾患：慈恵医大柏病院 辻先生

③遊育くらぶ

◇主旨

- ・運動あそびを含む多彩な経験を通じて、心身豊かな子どもの成長を助成する
- ・子どもの居場所不足という保護者および地域の不安を解消する

◇理念

- ・あそび、まなび、いきる

◇指針

- ・子どものあそぶ権利を尊重する
- ・子どもの可能性を制限しない
- ・自由の中にも自立と自律を大切にす

◇活動計画

- ・学期中は小学 1 年生授業終了から 19 時までの時間帯において以下の活動を行なう。
 - 運動遊び、昔遊び、自然活動、農業体験、勉強
- ・長期休暇または振替休日等一日利用の際には、9 時から 19 時の時間帯において上記の活動を行なう。
- ・月に 1 度昨年度までフィットネスセクションで行っていたあそびの日を継続し、遊育くらぶ会員以外の子どもたちも参加できるイベントを企画・実行する。
- ・学期中は近隣 5 小学校を循環する送迎バスを運行する。長期休暇時には同等の学区内において、停留できる場所を拠点とし、送迎を行なう。
- ・昨年度まで他セクションで行っていたサマースクールを遊育くらぶの活動として継続

する。

- ・長期休暇時、特に夏休みにおいてはアルバイトまたはヴォランティアという形でスタッフを増員することで受け入れ態勢も増幅する。
- ・サービスエースを用いた会員管理をフロントと協力して行なっていく。
- ・保護者との連絡において媒体を活用して子どもの状況を相互に把握する。
- ・有事の際の避難など、緊急時の訓練をスタッフおよび会員と行う。
- ・子どもおよび保護者の了承を得て、体力テストや学校の成績の推移追跡を試みる。
- ・スタッフの育成においては、課題文献を制定し、共通の知識・理解の保有を図る。

④イベント

- ・あそびの日：月に1度、遊育くらぶの主催で開催する。
- ・昨年度まで行なっていたシーズンイベント等を本年より遊育くらぶの主催で開催する。
- ・柏スポーツフェスティバルフィットネスブースの運営：9月

⑤スタッフの育成計画

- ・新規スタッフのMFAインストラクター資格の取得。
- ・マネージャーの指示により新規スタッフには外部セミナーの参加および資格取得を図る。

⑥帯同予定トーナメント

◇関東ジュニア(7月末)、全日本ジュニア選手権(8月上旬)、全日本選手権大会(10月末～11月1週目)

(5) 経費計画(10万円以上の支出)

- ・MFA指導者ライセンス取得 175千円 x2名=350千円
- ・遊育くらぶ農業体験費用 100千円

【フロント】

(1) 基本方針(昨年度の継続)

1. フロントのサポート力の強化。
体験や電話での問合せ等の対応力を強化。
2. マルチスキルの向上。
事務的な対応はもちろん、イベント・トーナメントの誘導や明確な情報収集ならびに伝達を図る。顧客満足度向上につながる対応力を身につける。

(2) 収支予算

無し。

(3) 活動指針(昨年度の継続)

1. イベント・大会へのサポート。
2. セミナーの参加またはフロント内の勉強会で、人材教育を図る。
3. 入会率の向上

(4) 活動計画

1. 受付・イベントのサポート(ディレクターとの事前確認が必須)

2018年	4月	：春入会キャンペーン・柏国際オープン
	5月	：　　　　　〃　　　　　・全国選抜・ピヨピヨ親子テニス教室・試打会 レディースチームカップ
	7月	：サマースクール
	8月	：あそびの日 DX
	9月	：秋入会キャンペーン・スポーツフェスティバル
	10月	：　　　　　〃　　　　　・ピヨピヨ親子テニス教室
	11月	：スポーツ科学セミナー・車いすテニスマスターズ・試打会
	12月	：KAZUKO 杯・ピヨピヨ親子テニス教室
	1月	：初打ち大会
	4月～3月	：あそびの日(可能な場合のみ)

① 入会キャンペーン

春と秋に約2か月間行う。事前会議から参加、入会率アップのアイデア(PR方法・体験者のフォロー等)を出し、各部署との連携を図る。目標を達成する為のサポートと、お客様へのサービス精神をもって、テニスの楽しさを伝えていく。

体験の受付から入会までの案内、手続きを行い、新規者の事前情報の獲得、体験レッスン前後のフォロー、入会手続き対応、クラスのウェディングをされている方の受入れ対応が中心。

② 遊育くらぶ

4月からスタートする新事業。必要に応じて可能な限りサポートを行う。

③ 柏国際オープン

講演会の案内状送付、出欠席確認、会場の準備、料理配膳、名札準備、各サポート対応。

④ 全国選抜

練習コート予約受付、懇親会の準備サポート、来賓の対応、フロントオープンの延長。

⑤ ピヨピヨ親子テニス教室

申込受付、当日受付、オンコートでアシスタントコーチ、体験レッスンの受付。

⑥ レディースチームカップ

事前準備(ネームプレート作成・賞品)・申込受付・当日受付。

⑦ 試打会

申込受付、参加者のリスト作成、当日の受付、ラケット申込の受付、在庫商品、発注品からガット張りへの処理。お渡しして完了とする為数週間処理を行う。

⑧ サマースクール

申込受付・スクールのサポートスタッフ。

⑨ スポーツフェスティバル

4. サービス力強化の為の情報共有と研修

① フロントノート

目的：フロントスタッフが最新の連絡事項を記入・確認をする重要なツール。

② 連絡事項ファイル

目的：印刷された情報をファイリングし、誰もが確認出来るよう整理しておく。

③ メモファイル

目的：緊急、短期情報を一時的に共有する。各自の対応中の案件も共有をする。

④ ブリーフィングノート(月曜日～金曜日)

目的：当日のイベント大会、コートの空き状況、顧客情報、体験入会者連絡・連絡事項、スタッフの動向、チェックシートを発信していく。

⑤ お客様チェックシート

目的：お客様の情報やご意見、事故報告書のコピーもファイリングし、ブリーフィング時に発信していく。

⑥ ユーザーズボイスファイル(サービスエースシステム)

目的：会員のお客様が直接書込むメッセージメールで、要望、問合せ、クレーム、サンキューメールがあり、内容によって各セクション担当者と対応していく。

⑦ サービスエースのメモ欄(サービスエースシステム)

目的：管理者側が顧客別に情報を書き込むツール。顧客情報・怪我対応・注文関係、体験対応などを共有する。

⑧ 見える化ボード

目的：イベント集客数やTTC全体の状況を毎日更新していく。
キャンペーンの終盤には目標人数までのカウントで、盛り上げを図りサポートする。

⑨ イベントファイル

目的：要項のみをファイリングし一元化を図る。

⑩ ウェルカムノート

目的：スクール体験のお客様のテニスの悩み、希望、戦歴などを伺い、コーチが把握した上でレッスンを行うためのツール。入会率向上を目指す。

⑪ 5月と9月のコート補修

一時、アダルトのお客様のインドアコート料金をアウトコート料金に変更作業。
132クラス(マックス1,050名弱)対象。作業スタッフを厳選し確実に実行する。

5. ショップ

① 古中コーチと相談し、メーカー展示会に同行予定。

女性をターゲットにした商品を中心に注文(古中コーチ要相談の上)。

② お客様が飽きない・見やすいショップレイアウトの変更。

③ 商品が分かりやすいPOP作成。

6. 新人の採用と研修

人員の安定を図る。同時にサービス業の教育を行う(外部研修の参加含)。

(5) 経費計画

① 研修費用

予算を12万円以内で検討。

人材育成・品質向上を目指し、アクションプラン形式に纏めていく。

5. プロショップ事業(収益事業1)

(1) 基本方針

プロショップは、TTCを利用されるお客様へのサービスの一環として存在している。そのサービスとは、必要な商品の提供・新しい商品の提案を発信することである。

その点を踏まえ、プロショップは、現状のサービスを見直し向上に努めていく事を基本方針とする。

(2) 収入・予算計画

☆売上24,000千円(前年23,500千円)

(ラケット6,300千円・ガット+加工代2,700千円+3,600千円・シューズ4,000千円
ウェア2,900千円・アクセサリ2,500千円・その他2,000千円)

☆仕入20,000千円(前年19,600千円)

コーチングスタッフ販売協力として客単価17千円を目指す

(3) 活動指針

メーカー、スタッフ、顧客の間で商品販売を促進するサポート

(4) 活動計画及び施策

① 月間フェア

- ・ 試打会協賛メーカー・イベント協賛メーカー 年2回開催(4~6月・9~11月)
- ・ ラケット・シューズ・ガット・ウェア・アクセサリ(グリップテープ)の提案
- ・ デモラケットやデモシューズは、商品の特徴を理解できるようにする。
- ・ メーカーフェアは、契約コーチがメーカー担当者と協力できる体制作り。
- ・ ウェアはマネキンを使用した提案→引き続きフロントスタッフ中心に取り組む。

※別紙販促スケジュール参照

② 試打会

年2回(5月・11月)合計100本販売

7社参加予定

② ガット関連

ガット張り替えキャンペーン

→年3回期間張替目標1,100本(張人2人体制・フルタイムスタッフの協力を得る)

④ DMによる商品割引

バースデーカード割引（ラケット・シューズ・ウェア）

年賀状割引（ラケット・シューズ）

ジュニアのカテゴリー変更割引（ラケット・シューズ）

⑤LPJでの商品紹介

ラケット・シューズ・インソール・高機能ソックス・サブリなど

⑥イベントでの商品販売

ピヨピヨショートテニス教室販売（年3回：5・10・12月）

レディースチーム・KAZUKO杯

Le Club イベントでの販売

在庫一掃セール及びブース販売（かしわオープンなど）

初打ちでのオリジナル福袋販売（メーカー別）

⑦SAのお知らせメッセージの活用

キャンペーン・フェア・セールの案内

※フェイスブックやホームページへは不定期にて掲載

⑧不定期販売イベントの開催

ラケット計測会

→トラックマン・スウィングラボ・プレイサイト

インソール計測会/CEP お試し会なども開催予定

(5) 契約について

2017年度のコーチ契約の追加

フルタイムコーチの増員に合わせて検討

ヨネックスに1名分の枠がある。

(6) 経費計画

ガット張り工具 (30 千円)

ワゴンセール用ワゴン (40 千円)

ディスプレイ用備品 (50 千円)

その他備品 (40 千円)

6. 賛助会（Le Club TTC）事業（その他事業1）

【賛助会】

(1) 基本方針

◇ル・クラブの活性化を図り、入会促進、継続率の向上に繋げる。

◇寄付金の税額控除等の説明等をし、受益者負担の拡大を図り入会促進につなげる。

(2) 収入・予算計画

①2018年賛助会総合計 27,000千円

②新規会員目標

法人賛助会員 2社以上

継続率	100%
個人賛助会員	70名
継続率	91%

(3) 活動指針

- ①Le Club TTC の活性化(練習会、イベント、トーナメントの見直し)
- ②寄附金の税額控除の説明

(4) 活動計画

①練習会ガイドラインの確認

②Le Club TTC の活性化

- ・練習会の見直し
- ・ダブルス月例スペシャルの実施
各月土曜日 10回開催
- ・シングルス月例スペシャルの実施
各月木曜日 10回開催
- ・予備日利用月例スペシャルの実施
- ・LPJ、楽しいお茶会の計画
- ・年間 MVP (シングルス&ダブルス) 表彰
- ・各イベントの参加者リストの整理と声掛け
- ・テニスをプレイする、サポートする、観戦する楽しさを広げる
- ・観戦ツアーを実施 (国内・外)

③賛助会ゴルフコンペの開催 年4回 (6、9、12、3月)

④新規入会、継続のお願い

- ・スタッフの賛助会入会、継続率の向上
- ・賛助会員の練習会、イベント参加へのお誘い
- ・Le Club TTC の中心になる方々へのお願い
- ・近隣・地域と協力、連携
- ・TTC の理事、評議員の方々へのお願い (現在 35 名、59%)
- ・TTC 利用団体等、グループへのお願い
- ・TTC と関わりのある業者の方々へ入会、継続のお願い
- ・Le Club TTC へ入会のお誘い
- ・Le Club TTC の方々には、MFA の取得、そしてヴォランティア参加を案内する

⑤その他

- ・寄付金の税額控除の説明等を繰り返し行い、受益者負担の拡大を図り入会促進に繋げる
- ・事務の簡素化を図り継続率の向上を目指していく
- ・永年継続 (10 年) していただいた方に感謝の意を込めてお礼状と記念品を贈る

(11月)

(5) 経費計画 (予算計画・年間 100 千円を超える支出)

- ・ネームプレート作成

10年を越して賛助頂いた方々に名入れ銀製ネームプレートをお送りする

2018年使用分 15個 200千円

【ヴォランティア】

(1) 基本方針

- ・年間を通じての講習会を実施し、緊急の場合の応急処置法や、スキルアップを目指す
年間を通じてイベント毎にご協力頂く内容を整理し、協力体制を築く
活動終了後にフィードバックを行い今後活かす

(2) 活動指針

- ・緊急時の対応、安全管理に留意するよう講習会の実施

◇ヴォランティア講習会の実施

- ・応急処置の対応 7月
- ・バラの手入れ 実習 1月
- ・ピヨピヨ親子ショートテニス教室 5,9,12月

(3) 活動計画

かしわスポーツフェスティバルを始め、Jr トーナメント、かしわ国際オープンテニス
トーナメント、その他各種イベントに多くのご協力・ご支援を頂いた。今後も柏市、
近隣町会、各団体との交流も一層広げ継続し更に繋げていく。

夏の関東ジュニアテニスツアーで柏高校のテニス部が、ロービングとして協力を頂
き今後も継続していきたい。またヴォランティアの掲示板にて、活動様子や、募集・
お知らせ等を掲示したことで良き理解者が増えており継続実施していく。

① 主な活動

- ・ピヨピヨ親子ショートテニス
- ・チームジャルダンの年間活動計画を遂行する (ガーデニング、ボール枕作り & 販売)
- ・毎週のお早うキッズ
- ・全国選抜ジュニアの運営協力
- ・ジュニアトーナメント、イベント等の運営
(ヨネックス、TTCジュニア、ブロッホ等)
- ・かしわスポーツフェスティバル
- ・関東ジュニアテニスツアー
- ・ITF かしわ国際オープンの運営協力
- ・ウェルフェア
- ・三井不動産マスターズの運営補助/協力

- ・KAZUKO 杯の集客サポート
- ・ピーナッツカップの運営サポート、ロービング等
- ・その他（バラの手入れなど）

◇ヴォランティア活動への参加を促す。

- ・TTC スタッフ
- ・Le Club TTC の方々
- ・ジュニアの父母（年間計画により 4 月に依頼）
- ・その他

◇サービスエースへ活動記録（SA：顧客管理システム）を入力する

- ・ヴォランティア活動を S A に入力し、情報の共有を図る
- ・その他

※ヴォランティアの方々の意見を聞くなどし、単に仕事の手伝いやまた特定の人に偏らないように声掛けをし活性化を図る。

◇皆様方への情報提供として

- ・M.F.A の取得の呼びかけ
- ・ヴォランティア掲示板の活用

【Le Club TTC】

(1) 基本方針

賛助会員の獲得につながる様、一人でも多くの方々にテニスの楽しさを伝えていけるよう、年齢、性別、地域を問わず、お客様と一緒に楽しむクラブを目指していく。

(2) 収入・予算計画

年間売上を 8,025 千円

練習会（クレサン含む）&LPJ 5,523 千円／イベント&ツアー2,476 千円）を目標とする。（詳細は活動計画を参照）

(3) 活動指針

練習会の参加者 4,200 人（2017 年度と同じ参加者数を維持）。LPJ の参加者 330 人確保。イベント（トーナメント参加者 552 人／サマー&忘年バトルダブルス 105 人／ツアーイベン参加者 32 人）、初打ち参加者 200 人を目標とする。（詳細は活動計画を参照）

(4) 活動計画

本年度は、集客方法に重きを置く。特に練習会ではスタッフがガイドラインを熟知し、多数の参加者でも臨機応変に対応できる練習会にすることが 4,200 人を維持確保することに繋がる。集客に目配り・気配り・心配りを心がけ、お一人一人に声掛けを心がける。ルクラブスタッフ以外にも内容など周知していただき自然に集まる流れを作る。楽しさを参加者以外にも伝えていく方法として動画や画像を使ってインターネット（ホームページ・サービスエース・フェイスブック）を積極的に使い、参加していない方々にも目に留まりやすい工夫をしていく。

① 練習会

- ・練習会 夜の初中級者の参加者をレベル分けで対応。月・金・土もアウトドアを使用。
- ・月例 その年の優勝者は、来年度は月例大会を招待（ランキングに属さない）。

② LPJ

- ・土曜 年に1回、水曜LPJと同じ外部との対抗戦の形式を土曜も開催する予定。
お茶会内容（タイムリーに情報を発信・賛助されている感謝を伝えるがメイン）
- ・水曜 交流戦の相手を開拓。近隣テニスクラブ、団体等（外部に依頼）

③ イベント

イベント、トーナメント要項を2ヶ月前に公表する

- ・ヴァン・ヴェール 年齢構成の検討
春 土日開催は若い人が出やすい3チーム編成、80才以下、100才以下、120才以下
秋 平日開催は2チーム編成、100才以下、120才以下
- ・サマーミックス 2チーム（男2人、女2人 計4人編成）で開催する。
- ・バレンタインミックス 予備日の検討
サマーミックス、バレンタインミックス WEBエントリーの実施検討する。
- ・バトル（ミッドナイト／忘年チャリティ）賞品やサービス、スタッフィングの変更

(ツアー)

- ・国内ツアー バラツアー・木更津ツアー・津幡ツアー（早目の告知を行う）。
- ・国外ツアー 全豪オープンツアー（企画検討する）。

D: イベント予算計画（スケジュール順・日程は未定）

	単価	計画人数	収入予定金額
➤ 春ヴァンヴェール（1チーム6人 1日間開催）	21千円	16組 96人	336千円
➤ ばらツアー	5.9千円	33人	194千円
➤ 木更津ぼんぼこ大会ツアー	3千円	6人	18千円
➤ サマーミッドナイトバトルダブルス	1.5千円～2.5千円（現金収入）	45人	40千円 （賛助会員1.5千円、スクール会員2千円、外部2.5千円）
➤ サマーミックスダブルスチームダブルス	18.6千円	24組 100人	446千円 （オープン・トライアル 2日間開催, 4人構成）
➤ 津幡 YOU 游ツアー	45千円	6人	270千円
➤ 秋ヴァンヴェール（1チーム4人）	16千円	14組 56人	224千円
➤ 年忘れチャリティーバトルダブルス	1.5千円～2.5千円（現金収入）	60人	60千円 （賛助会員1.5千円、スクール会員2千円、外部2.5千円）
➤ 初打ち大会	ご招待により¥0	200人	
➤ バレンタインミックスダブルスチーム	24.6千円	31組 192人	762千円 （オープン・トライアル 2日間開催, 6人構成）

➤ 練習会	1 千円～1.5 千円	4,200 人	5,260 千円
➤ クレサンテーム	0.5 千円		38 千円
➤ 土曜 LPJ	1 千円	300 人 (10 回)	(現金収入) 135 千円
➤ 水曜 LPJ	1 千円	120 人 (4 回)	(現金収入) 90 千円
➤ ノルディックウォーク			126 千円
			年間計画合計 8,025 千円

(5) 経費計画

年間 100 千円を超える支出

忘年バトル賞品 (月例年間チャンピオン賞品) 190 千円 (昼間 40 千円・夜 150 千円)

* 昼の月例の賞品を 2018 年度に変更する

夜の月例の賞品を 2019 年度は検討する

II 管理部門 (法人会計)

【経理】

1. 基本方針

- ◇ 経理 [3 人体制] の 2 年目・事業の価値を支える力・チームワーク力を高める
- ◇ 自分で考える主体性と仲間を考える横の連携を重視、働き甲斐のある職場作りをする
- ◇ 新規事業並びに他部門のサポート体制を強化し事業全体の目標達成に貢献する

2. 活動計画

- ① 業務プロセスを重視し常にミスをしないう正確性と数字を守る責任感を持つ
 - ・ 業務の改善点を探し出しミスが起きない仕組み作りをする
 - ・ 情報伝達や管理は決められた仕組みの中で行い事務事故ゼロを目標とする
- ② 業務内容を見直しペーパーレスを意識しファイリングを簡略化し利便性を高める
 - ・ 無駄を無くし業務効率の向上に努める
 - ・ 給与処理関係の出力ペーパーのデータ化を実行する(年間削減約 600 枚)
- ③ 新しい知識・経験を生かし変化に対する柔軟な対応力を身につける
 - ・ 新たな管理業務の習得
 - * 理事会・評議員会のサポート
 - * 子育て支援プロジェクト「遊育くらぶ」の資金管理(公益事業 4 で計上する)
- ④ 職務の価値観を共有し方向性を正しく保つ
 - ・ 年間のイベントサポートを行う [5 回以上]
 - (柏 Open、全国選抜、ピヨピヨ、スポーツフェスティバル、初打ち、他)
- ⑤ 経理スタッフの勉強会を行う [3 回/年]
 - ・ セミナー/研修のフィードバック、会計事務所の指導、所長との勉強会等
 - ・ プラスコミュニケーション (次の行動に繋げる) を心掛け信頼関係を深める
- ⑥ 目的・目標の共有・スタッフ自ら学ぶ事でスキルを高める

- ・積極的に研修・セミナーに参加する [2回/年]
- ・事務スキルの向上(日常業務の習熟度・現状 72%→85%を目標とする)

3. 経費について

- ①PCA 公益法人会計ソフトの年間契約保守料：約 60 千円
- ②人材育成（セミナー参加）：30 千円

【広報】

(1) 基本方針

◇TTC の活動内容を丁寧に発信し、ブランドイメージを高めていく。

(2) 活動指針

◇集客力を高める施策

秋のリスティング広告を強化し新規入会の体験者数を増やすとともに、イベントへの参加者増加をは図る。

◇ブランド・イメージを高める活動

好調であるフェイスブックからの情報発信をキープしていく。会員の方が使い易いホームページにカスタマイズし満足度の向上を図る。また、外部媒体による情報発信も多く実現できるよう関係団体と協調していく。

◇30 周年記念誌の制作をスタートしていく。

(3) 活動計画・目標

◇TTC 内の PR

①リスティング広告とホームページ体験フォームからの体験者獲得

春と秋、年 2 回のキャンペーンの体験者目標を次の通り設定する。

両キャンペーンでの体験者獲得目標は、前年実績 279 名より 1 割増しの 300 名としその内の 4 割にあたる 120 名を目標値とする。

②掲示板からのインフォメーション

館内の各掲示物と第一駐車場掲示板の更新と管理を行い、近隣外部への情報発信と既存のお客様へのイベント案内の底上げを図る。

④ HP イベント・トーナメントの表示の運用を確認しブラッシュアップしていく。

2017 年の HP 閲覧総数は、状況は月間平均 36,338 件で対前年平均比△2,384 件と減少している。新規セッションも月刊平均△1,563 件減少しており、運用や表示方法の工夫改善を進め閲覧数を増す取り組みを行う。

◇TTC 外への PR(集客・情報の発信)

①リスティング広告

春秋キャンペーン期間を軸にリスティング広告を実施していく。2017 年度両キャンペーンの実績では、春 71 名(Ad28, Jr43)、秋 32 名(Ad16, Jr16)の 103 名がホームページきっかけで体験レッスンを受けているが、流入データ分析から特に秋のキャンペーン時の表示強化を図っていく。

②プレスリリース

かしわ国際オープンテニストーナメント、かしわスポーツフェスティバル、三井不動産全日本選抜車いすテニスマスターズ、各トーナメントの告知と結果を適時プレスリリースしていく。

③TX 柏の葉駅ポスター

TX 柏の葉駅構内のポスター3年契約の2年目の掲示となる。年度初めにポスターの切替を予定する。その他、柏駅東口デジタルサイネージの協力を引き続きお願いし、新規獲得キャンペーン、トーナメント・イベントのPRを実施する。

◇Webからの情報発信について

①ホームページについては適時、フューチャーズやハイパフォーマンスプログラム所属選手の戦績やPJTメンバーの活躍などの情報をアップしていく。

②お客様の声

HPに、お客様の声を新たに4件(Ad2, Jr2)アップし情報発信に努める。

③フェイスブックからは引き続き、イベント、トーナメント、研修、パートナーズショップ、社会貢献活動、ショップ等の情報を発信していく。

遠征先から帯同コーチによる情報発信が増え、フューチャーズやハイパフォーマンスプログラム所属選手のトーナメント情報が恒常化していることもあり、2016年度の410記事87万件的リーチに対して、2017年度上半期時点で既に329記事196万件的リーチと高い数字が出ていて好調であり継続して取組んでいく。

④スポンサーの露出

法人賛助40社、協賛企業63社の協賛メリットの一つとして、ホームページのスポンサーページの維持・管理をしていく。

⑤SNSの活用

更なる情報発信のため、新たなSNSを検討・研修し実施する

◇企画セクションとの連携

企画と協力しながら、かしわスポーツフェスティバルやかしわ国際オープンをはじめとする各種イベントをサポートし、TTCの認知度とブランドイメージのアップを図るとともに社会貢献活動にも協力していく

◇TTCニュース

年3回、6月(全国選抜 Jr.)・10月(全日本 Jr)・1月(各種資格取得者・永年継続者情報等)に発行予定。

◇30周年記念誌

記念誌事業実行委員会をスタートし、編纂スケジュール、内容を確認し制作をスタートしていく。

(4) 経費計画(単位:千円)

①リスティング広告・・・961千円(7サイクル ※2017年度4サイクル)

- ②看板広告料・・・・・・・・ 227 千円(4箇所)
- ③TTC NEWS・・・・・・・・1,128 千円(3回分)
- ④柏の葉ポスター・・・・・・・・810 千円(柏の葉/年間)
- ⑤HP 改善関係・・・・・・・・ 500 千円
- ⑥HP 保守費用・・・・・・・・1,555 千円(年間)

【主な PR 媒体と機能】

	主な対象	主な機能と役割
リーフレット	新規の個人と法人	TTC の説明ツール
ニュース	賛助会員	会員への結果報告と御礼
掲示板	スクール会員	イベント告知等/集客
ホームページ	オープン	TTC とスクールの案内/新規獲得
フェイスブック	オープン	イベント告知と活動の発信
リスティング広告	地域限定	Web 広告による体験申込誘導
柏の葉駅ポスター	柏の葉利用者約 1.6 万人/日	ブランディング

【企画】

(1) 基本方針

TTC のブランド力を内外に発信し、テニスを通して豊かな人間形成とより豊かな人生をサポートし企画運営に努める

(2) 収入予算計画

協賛金目標 16,000 千円 (継続率目標 100% 新規獲得目途値 2社)

(3) 活動指針

- ①法人賛助・協賛企業活動の推進と管理
- ②各種上位グレードのイベントサポート
- ③地域貢献活動の推範
- ④理事会・評議員会のサポート
- ⑤人材育成とフィロソフィーの徹底

(4) 活動計画

- ①法人賛助・協賛企業の継続と新規開拓活動の推進
 - ・肌理細かな継続管理と新規賛助・協賛先の開拓を図り、現在の水準を維持拡大する
 - ・スポンサーメリットの拡充を図り、協力先を増やす
- ②各種イベントサポート
 - ・各イベントの質的向上(ヴォランティア・協力団体の拡大等)を図る

・顧客満足度を高め、参加者・利用者の拡大を図る

(イベントサポート)

4月 かしわ国際オープンテニストーナメント (AD:アシスタントディレクター)

5月 全国選抜ジュニア (AD・MC)

Vent Vert (事務サポート)

7月 サマーチームダブルス (事務サポート)

9月 かしわスポーツフェスティバル (AD)

*情報共有の強化、チームワークよく役割分担しより活性化させる

11月 全日本選抜車いすテニス選手権大会 (AD)

*5月のジャパンオープン視察

*三井不動産のアカデミー (コラボ) の推進と補佐

12月 ウェルフェア・ラッフル (AD)

*KAZUKO杯出場者他、商品提供依頼拡充

ピーナッツカップ (事務局)

*インターリソース様の協力の下、事務の効率化を図る

忘年バトル (事務サポート)

1月 全体会議 (取り纏め事務サポート)

2月 バレンタインミックス (事務サポート)

③地域貢献活動の推進

・個人・地域・企業・各種団体との協働を図り TTC の利用者を増やす礎とする

➤ 柏オークライオンズクラブ・柏創生ライオンズ (9月/田中神輿まつり)

➤ 柏商工会議所 (7月/柏まつり)

・地域との交流を図り、地元のサポートを更に厚くする

➤ 花野井町会イベント

ゴミゼロ運動 (5月)

花野井ふれあい祭り (8月)

芋煮会、防災訓練 (11月)

➤ 香取神社神輿祭り (7月)

④理事会・評議員会の運営サポートを行い記録と書類作成の精度を上げる

*公益財団法人 公益法人協会の講習会に参加し、理解と精度を上げ、総務のエキスパートとしてのチャレンジをする。

⑤企画力や対応力向上に努める

・積極的に外部セミナーへ参加し、職務の資質向上を図る

⑥各業務の遂行管理と報告

・各イベントの役所への申請・報告業務 (文書作成)

・内外文書確認作業

・全体会議資料作成・事業計画・事業報告の取り纏め

- ⑦ スタッフが働き甲斐のある、風通しの良い職場環境づくりを目指す
- ・水曜ミーティング時の歌を通して、表情・表現力・姿勢の更なる向上を補佐
 - ・小河原流を基本に、マナー・礼儀作法の再確認と向上に努める
(年1回、スタッフへの再徹底を実施)
 - ・他部署と協力し、随時、スタッフ懇親会の企画と推進
 - ・ビジネス実務法務検定資格又は防火管理者資格の取得

(5) 支出計画

① 11件 / 110千円の地元協力金

② 外部研修 セミナー 30千円

イベント・トーナメント視察 100千円

【施設管理】

(1) 基本方針

インドアコート補修(5月21日～6月2日実施)によりさらなる質感向上を図る。
1番、2番コートのインドア化による更なる稼働率向上を目指す。

(2) 収入・予算計画

収入計画 3,500千円(レンタルコート使用料)

(参考:直近3年の推移)

2015年 2,481千円

2016年 4,056千円

2017年 3,388千円(12月8日現在)

(3) 活動指針

- ◇ レンタルコート売上・コート稼働率アップ施策の策定
- ◇ 経費管理の徹底
- ◇ システムの維持管理・改良
- ◇ コート・建物の維持管理
- ◇ 各種団体への募金
- ◇ 企画部門のサポート
- ◇ お客様満足度向上

(4) 活動計画

◇ レンタルコート売上アップについて

① 空コートを有効活用。

昨年実績のた JOP 大会を 2018 年度は 20 回開催予定。

平日の昼に 15 回、ナイトセッションを 5 回申請済み。

@/一回開催平均 54 千円×20 回(見込売上 1,080 千円)

②外部イベントにレンタル

2017年度利用いただいた団体様は次年度の仮予約を取り付ける。

コート稼働率アップについて

(直近3年の推移参照)

2015年 インドアコート 85.2% アウトドアコート 47.2%

2016年 インドアコート 84.6% アウトドアコート 56.8%

2017年 インドアコート 84.5% アウトドアコート 55.1%

(12月8日現在)

①年間スケジュールから空きが出る時期を判断し、JOP大会の申請を行うと同時に、翌月以降のコート稼働状況を案内してイベントの企画等に情報連携する。

テニプロなど外部運営団体へのご案内をする。

②サービスエース(会員システム)の掲載

引き続きトーナメント予備日をサービスエースに掲載し、予備日特別料金での利用を増やし稼働率アップを図る。

③アウトドアコートのインドア化

稼働率アップの一環として1番、2番コートインドア化を推進していく。

◇ 経費管理について

(経費総額10,000千円を目指す)

● 電気

2017年11月より購入先変更で更なる改善を目指す

デマンドメーターの活用継続。

館内LED化を進める

● 水道・光熱費

水道に関しては有効な節水器具を検討していく。

● コピー

大量印刷はリソグラフを使用して費用を抑える。

◇ システムの維持管理・改良

安定したシステム運用を継続する為、2018年度は4台を入れ替え予定。

遊育クラブへの対応。

◇ コート・建物の維持管理

メンテナンススタッフと連携による日常の点検の徹底。

2018年度は11番、12番、13番、14番コートの補修5月21日から6月2日に行う予定。

インドアコート屋根のリペイント(断熱塗料)

館内エアコンの順次入れ替えを行う。

補助金の状況次第で館内エアコン新調と照明のLED化を同時に行う事も検討していく。

◇ 各種団体への募金（目標総額 300 千円）

チャリティラッフル・ウェルフェアを実施して募金活動をおこなう。

募金団体は以下の4団体とする。

- ①公益財団法人 日本ユニセフ協会
- ②財団法人 世界自然保護基金（WWF）
- ③乳癌撲滅啓蒙運動
- ④千葉県テニス協会・ジュニア委員会ジュニア基金

◇ 企画部門のサポート

地域協力団体との協調の為、地域イベントのサポートを行う。

◇ お客様満足度向上

館内フリーwifiの導入を検討していく。

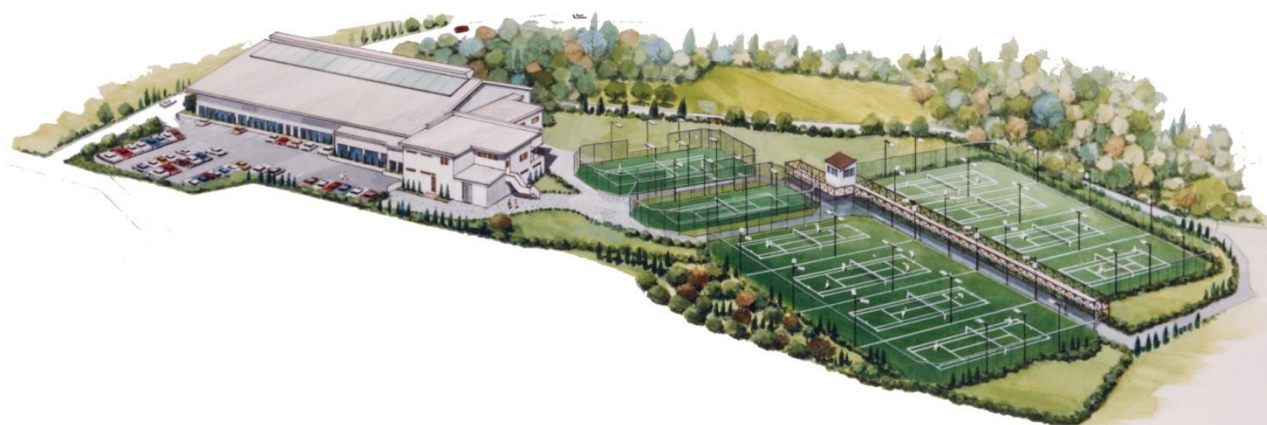
(5) 経費計画

予算計画	420 千円（館内清掃 5 月・11 月）
	240 千円（駐車場定期点検 5 月・11 月）
	540 千円（会員カード 2000 枚）
	600 千円（メンテナンス費用 5 万円/月×12 か月）
	400 千円（パソコン入替）
	650 千円（館内 LED 化）
	4,000 千円（エアコン交換）
	15,000 千円（コート補修 11, 12, 13, 14 番コート）
	15,000 千円（インドアコート屋根塗装）
合計予算	36,850 千円

以上

平成30年度 事業計画書

(2018年度)



公益財団法人 吉田記念テニス研修センター

平成 30 年度 事業計画

目 次

I テニス部門

1. 普及プログラム事業（公益目的事業 1）

アダルト・ジュニア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2. 選手育成事業（公益目的事業 2）

レベルアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

フューチャーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

ハイパフォーマンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

車いす・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

トーナメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

3. 指導者育成事業（公益目的事業 3）

研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

4. フィットネス・ケア事業（公益目的事業 4）

フィットネス・ケア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

5. フロント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

II 収益・その他部門

6. プロショップ事業（収益事業 1）

プロショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

7. 賛助会（Le Club TTC）事業（その他事業 1）

賛助会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

ヴォランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

Le Club TTC・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

III 管理部門（法人会計）

1. 経理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

2. 広報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

3. 企画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

4. 施設管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

全 40